

七尾市 議会だより



第 26 号

平成23年度 当初予算審議



雪解け水で満水の道閑池(多根町)

CONTENTS

定例会の概要	2
代表質問・一般質問	3 ~ 10
議会基本条例制定に向けて	11
提出された議会議案・議会の動き	12

平成23年第1回市議会定例会の概要

3月2日（水）

●本会議

平成23年第1回定例会
が招集され、会期を21日
間と決めた。平成23年
度一般会計予算として
301億3千万円及び11
の特別会計と企業会計の
他、補正予算案と条例案
等を含めた議案44件が上
程され、提案理由の説明
が行われた。その後、議
案第46号「訴えの提起に
ついて」について、委員
会付託され委員会での審
査を経て採決をした結
果、可決した。

3月8日（火）

●本会議（代表質問）

3月9日（水）
●本会議（一般質問）

3月10日（木）

●本会議（一般質問）

3日間にわたり、代表
質問及び一般質問に16名
の議員が質問に立ち、市
政や議案に対する質疑・
質問が行われた。

3月14日（月）

●予算特別委員会

5名の委員が予算案に
対する質疑を行った。

3月16日（水）

●常任委員会

3月17日（木）
●常任委員会

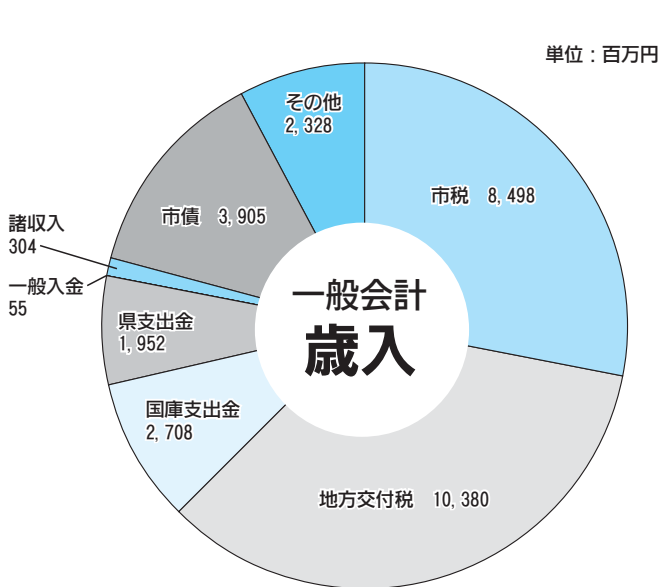
2日間にわたり、3つ
の常任委員会において
付託された議案について
委員会審査が行われた。

3月22日（火）

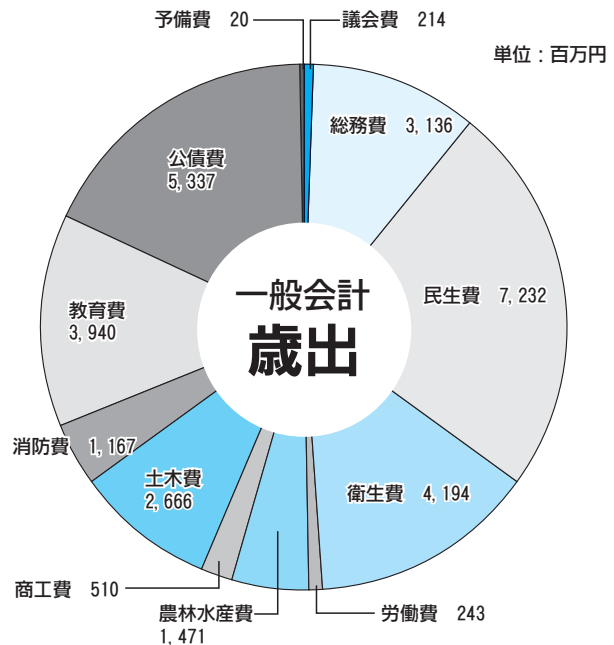
●本会議

各常任委員長から委員
会における審査の経過と
結果が報告され採決をし
た結果、議案が全て可決、
継続請願1件が継続審査
となった。その後、追加
同意案1件の提案理由説
明が行われ、直ちに採決
をした結果、同意された。
また、意見書に関する議
会議案3件が提出され、
提案理由説明が行われ、
直ちに採決した結果、全
てが可決された後、市議
会定例会を閉会した。

平成23年度七尾市一般会計 301億3,000万円 (対前年比 12億6,000万 4.4%増)



国税と地方税をあわせた法人実効税率5%の引き下げや七尾大田火力発電所の固定資産税額の減少により、市税収入が前年度比2.6%減の84億9,783万円となる見込みです。地方交付税は、同0.8%増の103億8千万円を見込んでいます。



国の経済対策を踏まえるとともに、歳入の税収減等に見合った歳出構成の見直しを行いました。特に、教育費においては、教育環境の整備（山王小学校の建設、香島・能登島中学校の整備など）により、前年度比40.8%増の大きな伸びとなっています。

平成23年度予算総額 509億7,209万9千円 (一般会計・特別会計・公営企業会計をあわせたもの)

国民健康保険について

答弁：温泉施設への招待券を配布

木下 敬夫 議員

(礎)



になることを考えてみてはどうか伺います。

木下議員 健康づくりに挑戦して医療費を下げることに成功した市民を顕彰できないか。また、健康づくりに少しでも目を向けるような保険料を下げるといったことや励み

武元市長 顕彰という点ではおっしゃるとおり必要であろうと思います。基本的には、医療費が年々増加をする現状の中で、国保も単年度赤字が継続していますので、医療費の削減には、まず病気が大事です。そのためには健康づくりであり、また病気の早期発見ということが大変大事だとい

ことで、そういったことの取り組みもさらに力を入れていきたいと思えます。そういう意味では、国保に加入している所帯の方々が一年間全然お医者さんにかからないといった方に対しては、温泉施設への招待券をそれぞれの所帯にお配りしています。それから健診のことにつきまして、特に特定健診をもっとふやさなければならぬというところもあるのですが、健診も無料化をしてい

うということでも今取り組んでいます。特に22年度は前年度から継続して受診した人については健診を無料化しているわけですが、今後もっと無料化を進めていきたいと思



健診風景

- その他の質問項目
- 電気自動車構想
- いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン(案)

すが、いかがでしょうか。

和倉温泉街の今後の展望について

答弁：散策できるようなものを整備

中西 庸介 議員

(清友会)



中西議員 昨年は石崎地内において、多目的グラウンドが完成し、また隣の県有地を譲り受け、マリンスポーツ施設整備が展開されようとしています。建設中の市民交流広

場、湯つ足りパークでの足湯と一つ一つの面整備が着実に完成され、和倉温泉街の新しい顔として市民に浸透しています。そんな中であって、最近地元でもよく取り上げられるようになりました旧六翠苑跡地です。今後の進め方によつては和倉にもう1つの顔ができ、親しみやすい施設としてよみがえると思えます。実効性のある計画を地元関係者の皆さんと今後協議する必要を感じていま

武元市長 和倉温泉は海岸沿いを散歩できるような場所、遊歩道というものが非常に少ないので今整備しているマリン施設等、整備の終わった多目的グラウンド、湯つ足りパーク、これを海岸沿いを結び、散策できるようなものを整備しなければならぬと思えます。このことも地元関係者の方々と協議をしながら進めていきたいと思

が、旧六翠苑跡地については、これからのまちづくりの中でどのような形で生かしていくことができるのか、どういう形が望ましいのか、今後の検討課題というふうに認識しています。

- その他の質問項目
- 財政問題
- 御祓川大通りの今後の活性化策
- 市民のねがいに曲、市花などの制定



建設中の観光交流センター

能登歴史公園の整備 内容とスケジュール について

答弁：平成30年度に全体完成

木下 孝輝 議員

(等政会)



木下議員 国分寺公園の用地については、現在買収が終わり、事業も真ん中の道路を中心として国道側は大変整備され、多くの皆さんに利用されています。そういう中で西

側の公園計画は県の物ですが、用地交渉では七尾市が計画に責任を持つというのを地元で示している、その計画について伺います。

端建設部長 能登歴史公園は仮称能登自動車道七尾インターチェンジに隣接する立地条件を生かし、歴史的遺産を保全・活用しながら多様なレクリエーションの拠点となる広域型の都市公園として県が整備している

ところ、その公園の中央には、歴史・文化の体験、学習ができる公園センター、そして北側には歴史体験広場、南側にはグラウンドゴルフのできる中央広場や見晴台等を整備する予定と聞いています。現在は盛り土がほぼ終わり、中央広場周辺の水路、芝生等の施工を行っています。来年度からは中央広場周辺の園路、駐車場の整備を工事し、平成30年度に全体の完成が図れるように進め

ると聞いています。市としても全面的に応援していかねばならないと思います。

●その他の質問項目

- 市政全般についての財源の確保
- 議案説明の中で積極的事業計画がされており、財源の見通しについても説明が有り、後世に負担が残らないか
- 学校建築の計画



国分寺公園



田鶴浜料金所

能越道開通・北陸新幹線金沢開業そして能登有料道路の無料化をふまえての施策は

答弁：七尾の魅力を発信

杉木 勉 議員

(灘会)



杉木議員 北陸新幹線開業、能越道開通、また能登有料道路が無料化になるということですが、これを踏まえて、地域の経済に対して人・物が動く大動脈が七尾へ来るわけ

です、それを生かした交流人口の拡大なり地域経済にどう効果をもたらすのか伺います。

武元市長 これまで半島で交通アクセスが悪いというハンディがあったのですが、交通アクセスがよくなることをチャンスととらえ、地域資源を活用して七尾の魅力を発信して地域経済の活性化を図っていかねばなりません。魅力ある七尾を発信するには3大都市圏

をターゲットにして、人物をどのように呼び込むかが大きな課題です。中京圏に対して七尾の観光情報を発信するためのFMM局との連携、長谷川等伯号を走らせるといいうようなことも取り組みたい。関東圏では地下鉄に能登・七尾の宣伝をする取り組みもしていきたい。また和倉温泉のまちづくり事業も進んでいます。七尾港の利用促進のため港の港湾整備、都市計画道路の港と能登自動車道を

●その他の質問項目

- 人口減少に伴い各集落でのお祭や行事が困難な状況にあると思うが、どう集落を支援していくのか
- 農業問題

都市計画道路本府中矢田線の整備について

答弁：整備時期を見きわめていきたい

佐藤 喜典 議員
(市民クラブ)



佐藤議員 山王小学校も耐震診断の結果、建て替えることになりました。時間的な制約もある中で建設委員会を設立し、皆さんの意見をお伺いし、平成24年7月の校舎完成

を目指して準備を進めています。その委員会の席上で配置図が配布され、都市計画道路本府中矢田線の完成時には歩道と車道を分離し、児童の安全を確保する。また給食の配送もスムーズにできるという記載がありました。今都市計画マスタープランの見直しが行われている中では、交通体系の方針に見直しの対象となる都市計画道路として、本府中矢田線が上げられています。しかし道路は生

活に欠かせず絶対必要な物の一つです。その道路が地域と行政が一体となったときにはじめてすばらしい道路ができてくるのではないかと思えます。この本府中矢田線の整備についてやっていくという気があるのかなのか、思い、決意を伺います。

りまして、見直し検討を行っておりますが、この道路は、引き続き今後も都市計画道路として整備すべき重要な路線と位置づけているところです。今後は地元調整を十分に行いながら整備時期を見きわめていきたいと考えているところです。



都市計画道路本府中矢田線

伊イセの大規模養鶏場の建設について

答弁：話し合いができる集会をお願いしている

伊藤 厚子 議員
(無党派)



伊藤議員 市長は一貫して伊イセ食品の大規模養鶏場を建設しても、すべての問題は三者協定を交わして問題解決していくとの話でした。企業の側

にいただいた発言で大変悲しい思いをしたと思うが、

どのような思いで発言されたのか。また、高岡市と氷見市の取り組みは七尾市の伊イセ食品の大規模養鶏場建設とは同じ課題ではないと述べられています。どのようなかから違うのか伺います。

被害をもたらすようなものは毛頭誘致する思いはありません。初めから反対を前提にして、話をするような雰囲気ではなかったかなと思います。議論やお話し合いができる集会をお願いしていたが、そういう状況でなかったのは大変残念な思いです。

武元市長 この地域の人口減少や雇用の場がないという状況の中で、少しでも雇用拡大のために企業誘致を進めていかなければならない。さりとて

また、氷見市、高岡市にまたがった場所で養鶏場の計画があり、養鶏場が高岡市で排水が氷見市に流れ、近くに集落があり、この集落の皆さん方が

開放鶏舎時代において排水に心配があり納得いただいていない状況です。そういう意味で、中島で計画している場所などが違々と申し上げました。

●その他の質問項目

- 男女共同参画社会推進「放課後子どもプラン」の推進
- 不育症治療支援事業
- 障害者に対する就労支援
- 期日前投票での宣誓書の記入
- 火災報知器の普及



伊イセ(株)が経営する三重県伊勢工場

農商工連携について

答弁：一層の誘客と相乗効果を図る

久保 吉彦 議員

(等政会)



久保議員 ふるさと元気が七尾市商工会議所に於いて開催されました。そのとき七輪まつりも開催されていたが、商工会議所から、七輪まつりへ行くという流れが余りな

かったと思います。流れとしては食祭市場があり、テント村を開催した七輪まつり、商工会議所、もしくは商工会議所、七輪まつりという人の流れであればよかったと思います。テント村の出店者が少なかったため、距離が足らなかったから、ああいうふうになったのかなと思います。今後、そういう方向で取り組んでいただけるのか伺います。

元気祭と海鮮七輪まつりは、海鮮七輪まつり実行委員会が両イベントの連携、内容の充実、誘客促進を図るために協議を重ねました。開催日は食祭市場で開催されている如月おしんぼ市とあわせることにより、より一層の誘客と相乗効果を上げることができました。結果、七尾の新鮮なカキや朝とれの魚介類など食をテーマとしたイベントと世界に誇る市内企業の新商品

のPRを行うイベントの同時開催は、広く地域資源を知っていただく機会として意義があったと思います。しかし、周知期間が短かったことで、それぞれの催しの時間帯調整が十分でないなどの課題もあり、次回はこれらを改善し、より多くの市民の方が各会場に足を運ばれるようなイベントにしたいです。



元気祭り



中島中学校

西エリアの中学校統合について

答弁：1学年3学級の実現をめざす

山添 和良 議員

(市民クラブ)



山添議員 昨年度、中島、田鶴浜、両地域で生まれた子供が72名、一昨年度は75名でした。2013年統合予定ですから、10年もしないうちに統合した中学校も1学年2学級

となつてしまいます。どのような中学校をつくるか、改めるとしていいのか、改めてそのビジョンを伺います。中島中学校、田鶴浜中学校、さらには御蔵中学校も含めて校舎、体育館、早急に耐震化工事を行うのが先であろうと私は考えます。耐震化された校舎のもとで統合はいかにやるべきかを考えていくべきだろうと思いますが、考えを伺います。

三浦教育長 そのビジョ

ンは、中学校の再編にあたっては、我々がよりどころにしているのは1学年3学級という学校規模を実現することです。学校全体を9学級編制とすることによって必要な教員の数を確保すること、平成20年度と平成21年度に生まれた田鶴浜、中島両地区の子供の数が1学年3学級に必要な81人を下回っていることについては、まず生徒総数という観点からは目指す教育環境に影響はないと

考えています。また、学級編制という観点から見ても、いずれ35人学級となることはほぼ間違いなく、その影響はないと考えています。

●その他の質問項目

- 個人住民税減税
- 学校現場の労働安全衛生体制
- 企業誘致のあり方
- 七尾港の振興
- 今年の除雪対策の総括

国民健康保険税について

答弁：税率を戻すこともやむを得ない

議員 和典 議員
(無党派)



議員 和典 議員
まだ基金があるにもかかわらず特例を廃止して、市民の暮らしを破壊する国民健康保険税の値上げを中止すべきと考えるが考えを伺います。

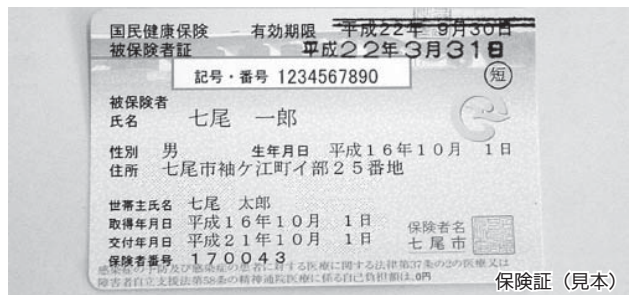
武元市長 これまで七尾市の国民健康保険税は、財政調整基金の保有額が国の示す基準額を超えていたため、平成21年度と平成22年度に減税を行いました。そのことで、平成22年度では七尾市の1人当たりの保険税額は県内で一番安い保険税となつている状況です。しかし、経済の不況あるいは減税、療養給付費が増える中で、基金の取り崩し額は当初予定していた額を大幅に上回り、平

成21年度は約1億円オーバーしましたし、22年度はさらに2億円の見込み額を超える状況です。そういう状況で、22年度末の基金残高は決算見込みで6億8,900万円ぐらいいとなると見込んでいます。こういう状況の中で、現在の税率のままでは二、三年中には基金が枯渇をすることが見込まれますので、健全な財政運営に支障を来すことになるので、今後も安定的な財政運営を行うため

には歳出に見合った歳入を確保する必要があり、税率を戻すこともやむを得ないと考えています。

●その他の質問項目

- 住宅リフォーム助成制度
- 子ども医療費助成
- 保育料の徴収基準
- 子育て新システム
- 介護保険における障害者控除
- 公契約
- 不法係留



文科科学省の「みんなの廃校」プロジェクトに七尾市の廃校情報を同省のホームページ上の掲載について

答弁：有効な方法であると考え

岡部 俊行 議員
(灘会)



岡部議員 これまで廃校舎施設に関する情報提供は、各自自治体が個別に行ってきたため、利活用を希望する企業者らが条件に合った物件を見つけていたことが大変難しい状況でしたが、文科科学省は

廃校となった公立の小学校などの校舎を民間企業などに再利用してもらうため、全国の廃校情報を同省のホームページで一括提供する方針を示しました。文科科学省が始めた全国の廃校情報「みんなの廃校」プロジェクトに七尾市の空き校舎の掲載について伺います。

三浦教育長 現在、七尾市では西岸小学校、北嶺中学校、湊南中学校の3校が廃校となっています。

この中で、旧西岸小学校では校舎の一部を能登演劇堂の倉庫として利用しており、体育館は西岸公民館の体育館として活用しています。また、旧湊南中学校については、平成23年8月までに改修を行い、有磯小学校として転用することが決まっています。今後、有磯小学校は旧湊南中学校へ移転することにより廃校となります。能登島中学校も香島中学校との統合により廃校となること

まっております、これら小学校の利活用を図る上で、提案の「みんなの廃校」プロジェクトの利用もその一つの有効な方法であると考えます。また、地域の活性化につながるような利活用方法を関係部局とも今後協議していきたいと考えています。

●その他の質問項目

- 石川県が進めている個人住民税の直接徴収
- 交流人口拡大対策



外郭団体の改革について

答弁…9月をめどに議会へ報告

山崎 智之 議員

(市民クラブ)



山崎議員 すべての外郭団体の経営状況を来年度から議会報告すべきではないか。また、市が筆頭株主である能登島リゾート開発。平成16年度から毎年決算書類の提出を受

け、多額債務を当然理解していたのであれば、議会に報告すべきではなかったのか。そして外郭団体が今後同様に経営破たんした場合を考慮して対応策、基本方針を策定すべきではないのか、考えを伺います。

ます。本年の9月をめどに七尾市が設立に関わった法人というものを公開をしていかなければならないというふうに思います。そして、外郭団体の中で今後も経営破たんをした場合、それぞれ関連企業に対して制度融資の支援、あるいは離職者に対してハローワークと連携しながら雇用確保に向けて努力していかなければならないと思います。こういったことがないよう事前に経営状況を把

握しながら議会に報告をさせていただきます。

●その他の質問項目

- 総合計画・中期財政計画の見直し
- 都市計画画税の減税、行政改革
- 中心市街地の利活用・港湾整備



能登島ゴルフアンドカントリークラブ



修繕中の船

七尾港を核にした振興策について

答弁：仕事をふやしていく取り組みをしたい

杉本 忠一 議員

(等政会)



杉本議員 県の23年度予算概要から、七尾港を作業船等の造船や修繕基地化の調査費の計上が明らかになりました。早速、関係者の方々に事情を尋ねたところ、日本海側で

は300トンクラスの船の修繕技術で関連企業も含め集約された能力を持つているのは、七尾しかないという聞きまし。ところが船を係留する場所がないとの課題も聞きました。この件は国や県に対し要望と提言を具体的にでき得る問題ですので、七尾市として県の調査と並行して、どう対応を図っていくか伺います。

術・能力を持った造船関連企業をさらに受け入れ、仕事をふやしていく取り組みをしていきたい。23年度当初予算でも県とも連携し、七尾港整備振興促進協議会が事業主体となり、港湾産業活性化推進事業で事業費400万円を日本海側における修理船舶の受注可能性調査や七尾港内各港における受け入れの可能性調査等を県とともに支援していきます。改めて、造船船舶関係の企業が集中して

いる、またすばらしい技術、能力を持った方々がいるということを生かしながら、七尾港の振興に努めていきます。

●その他の質問項目

- 里山・里海の振興策
- 協働・市民参画事業の推進
- 西湾一周万本桜並木道づくり
- 子ども教育の充実、学校建設
- 県当局トップと県知事との懇談会を

家畜伝染予防について

答弁：周知と啓発に努めたい

永崎 陽 議員
(清友会)



永崎議員 2月11日、口蹄疫の感染が疑われる

症状の乳牛が富来放牧場で見つかったとの報道が駆けめぐり、検体の結果が口蹄疫はシロとの結果を受けました。また、私たちの住む地域は渡り鳥の

多い地域であり、口蹄疫同様、鳥インフルエンザの対応も視野に入れておかなければならないです。特に野鳥に対しては監視体制、野鳥との接し方の普及の徹底や指導、要請などの対応は重要です。当市の対応はどの様に考えているのか伺います。

武元市長 発生が疑われた口蹄疫の対応については、県と志賀町と七尾市も隣接地ということで連携を取りながら県の防疫

対策のマニュアルによる初動体制につきました。この体験を通じて、今後の予防体制にも生かしていきたい。また、鳥インフルエンザについては、市民に対して、死んだ野鳥を見つけた場合には、すぐに知らせて下さいといった周知と啓発の対応をとったところです。養鶏農家に対しても、異常な鳥等を発見した場合は、速やかに家畜保健衛生所へ連絡するよう指導しています。また、防疫対策

として、消石灰の散布をし消毒の徹底をしていただいています。

●その他の質問項目

- 国の予算関連法案の成立が遅れそうだが、当市の予算執行に影響は
- 子ども手当
- 七尾市行財政改革大綱
- ネットワーク型コンパクトシティ構想
- パイオマスタウン構想
- 能登島リゾート開発の問題
- 職員の給与格差
- 西エリアの中学校統合



大津瀧の野鳥たち

“郷土の文士” 藤澤清造とまちなか観光の取組みについて

答弁：観光の検討委員会を設置する

荒川 一義 議員
(礎)



荒川議員 芥川賞で浮かんだ郷土の文士、藤澤清

造氏ですが、現在、西光寺さんに清造氏の木の墓印が建立されています。西光寺さんは小丸山公園と隣接し、一本杉通り、山の寺院群と中間的な位置

にあります。この位置づけを考えると、まちなか観光として期待ができませんか見解を伺います。

武元市長 芥川賞を受賞した西村さんのおかげで、新たに七尾市ゆかりの藤澤清造という作家が光を

浴び、藤澤清造の菩提寺である七尾市小島町の西光寺がいろいろな形で今関係者の方々、ファンが訪れていると聞いています。七尾に新しい、歴史的な文学的な一つの拠点

●その他の質問項目

- 国勢調査速報から見えてくる七尾市の現状と人口減少戦略
- 七尾市経済発展につながる地域経営のあり方
- 新しい公共の視点と公益ビジネスの必要性
- 七尾市行財政改革2次プラン
- 認知症高齢者の対応力の強化と取り組み
- 世界農業遺産
- 石川の教育振興基本計画と教育基本条例の制定



藤澤清造氏の墓標

過疎債の活用について

答弁：計画どおり進めている

松本 精一 議員

(礎)



松本議員 過疎債は、現民主党政権下で、6年間の時限立法として特別措置法が制定されました。引き続き旧中島町と旧能登島町が対象として新たに昨年9月、過疎地域自

立促進計画が策定されました。しかし、その中身は積み残しのものがほとんどであり、27年度までにどれだけ実行できるものか危惧しています。積極的・計画的に実行していただきたいと思えますが考えを伺います。

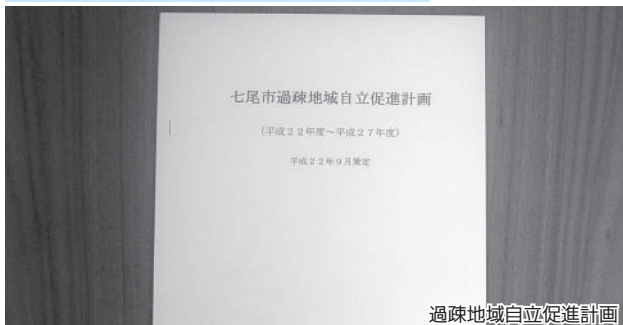
は平成27年度までに整備予定のハード事業とソフト事業をあわせて計画に盛り込んだところですが、特に、法改正で新たに過疎債の対象となったソフト事業は、平成22年度は上限額1億1,700万円でした。23年度も上限額に近い1億円の過疎債を起債で対応したいと思えます。今後も計画的に過疎債を活用しながら生活環境の基盤整備、産業振興、地域の自立に向けて過疎地域の活性化に取

立促進計画が新たに策定されました。新しい促進計画の中ではソフト事業も対象になりました。そういう意味で過疎計画に

り組んでいきます。ハード事業については、長期的な視点に立ち計画どおり進めていきます。

●その他の質問項目

- 第5期七尾市老人保健福祉計画及び介護保険事業計画
- ケーブルテレビ加入
- 地デジ対策
- 住宅用火災警報機設置の普及
- 子ども手当支給
- 体育振興団体運営費補助金



過疎地域自立促進計画



田鶴浜中学校

鹿北統合中学校について

答弁：全力挙げて知恵を絞る

石川 邦彦 議員

(等政会)



石川議員 総合的に学校統合問題の解決とあわせて地域づくりを進めるために全庁挙げて取り組むべきではないのか。行政全体と地域が一体となった問題解決の取り組み方

法について伺います。

武元市長 教育委員会だけの問題ではなくて、七尾市全庁的な課題として、単に教育ということのみならず、地域の振興ということもふまえて取り組まなければなりません。基本的には、学校教育については教育委員会の考え方を優先していただきます。子供たちの教育環境をどういう形で整備をすればいいのかということが基本です。地域の皆さ

ん方にとりましては、学校の統合により過疎化が進むのではないかと、また地域の活力が低下するのではなかと懸念、不安があることは十分承知しています。そういったことに対してどう対応するのかは、行政の課題であり、対応が問われているので、きっちりと対応していかなければならぬと思います。人口が減っていく、子供が減っていく状況を何とかして増

え、人口が増えるような取り組みが必要なわけで、雇用の問題、企業誘致の問題、地域の農業・農村の振興という問題と関連することから総合的にとらえながら、住民福祉の向上を図っていくのが行政の仕事だと思えます。これからも全庁挙げて知恵を絞って取り組んでいきたいと思えます。

議会基本条例制定に向けての検討について

現在、七尾市議会では、平成24年4月1日の施行を目標として、議会基本条例についての検討を行っています。今回は、そのことについてお知らせをします。

議会基本条例とは？

地方分権により国から地方への権限委譲が進むにつれ、本市が自らの責任において、その組織及び運営に関する様々な決定を行うことが可能となり、議会の果たすべき役割及び責務の重要性が増大しています。

このような中、七尾市では市民がまちづくりに参画し、行政と協働で地域の課題に取り組むために、お互いの役割・権利・責任を明確にするための「まちづくり基本条例」制定に向けての検討がされていますが、議会基本条例は、まちづくり基本条例と基本的な方向性を同じにしながらも、議会は市長と同じく市民の皆さまから直接公選され、市の意思を決定する唯一の議決機関であることから、自らの責務と役割を明確にするとともに、自治に基づく地方議会運営の基本原則を定めるものです。

具体的には・・・

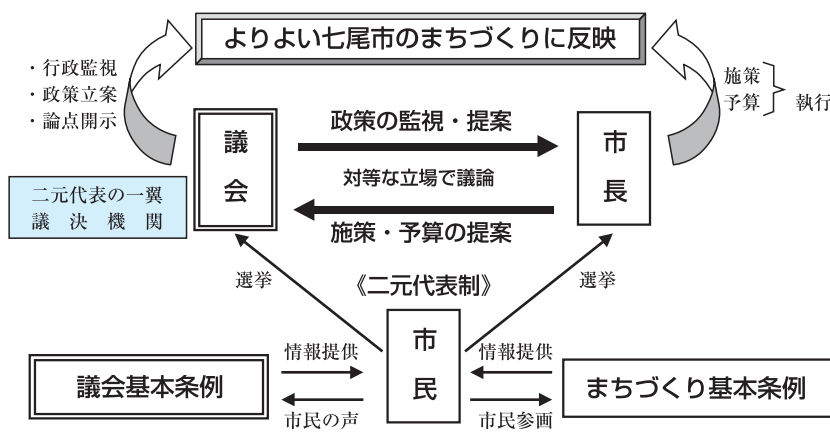
- 議会の役割
- 議会及び議員の活動原則
- 市民と議会の関係
- 議会と行政の関係
- 議員間の自由討議
- 委員会の活動
- 政務調査費
- 議会及び議会事務局の体制整備
- 議員の政治倫理、身分及び待遇

◆これまでの取り組み

議会では、平成21年12月に開催された「行財政改革推進特別委員会」において、議会基本条例の制定に向けて取り組みことが提案されました。

その後、議会内での了承を得て、「行財政改革推進特別委員会」を中心にして、様々な機会に検討を行ってまいりました。現在は、第一次素案が完成したところです。

議会基本条例のイメージ



◆これからの取り組み

これからは、更に条例の自身を検討し、計画では、平成24年の3月定例会で、本会議に条例案を提案しようと考えています。

なお、それまでの過程において、アンケートの実施や公聴会の開催等、何らかの形で市民の皆さんの率直なご意見をいただく機会を設けながら、よりよい条例が制定できるよう、取り組んでいきたいと考えています。



(行財政改革推進特別委員会での検討の様子)

◎今議会において、審議された請願の結果は下記のとおりです。

請願番号	請願名	請願者	結果
継続請願 第3号	「石川県乳幼児医療費助成事業補助金交付要綱の一部改正」の意見を石川県に提出を求める請願	石川県社会保障推進協議会 代表委員 清水 巍	継続審査

◎今議会において、提案された議会議案の結果は下記のとおりです。可決された意見書は、政府各関係機関へ提出しました。

議案番号	意見書名	採決結果
議会議案第1号	障害者基本法改正案におけるインクルーシブ教育に関する意見書	可決
議会議案第2号	中学校社会科地図帳の内容を適切な記述に是正するよう求める意見書	可決
議会議案第3号	若者の雇用対策の更なる充実を求める意見書	可決

議会の動き

2月

- 2日 のと鉄道運営助成基金事務組合議会議員協議会
行財政改革推進特別委員会
- 8日 行財政改革推進特別委員会
- 9日 全国市議会議長会評議員会（東京都）
- 16日 広域行政圏市議会協議会総会（東京都）
石川県市議会議長会定期総会（白山市）
- 17日 全国高速自動車道市議会協議会理事会・総会（東京都）
- 22日 議会運営委員会
全員協議会
行財政改革推進特別委員会
- 28日 議会運営委員会

3月

- 2日 第1回市議会定例会（～22日）
- 25日 石川県後期高齢者医療広域連合議会定例会（金沢市）

4月

- 7日 北信越市議会議長会評議員会・定期総会（長野市）

人事案件

適任者と認め同意しました。

◎西岸財産区管理委員

- 【中島町小牧】 泉 一秋
- 【中島町外】 神田 孝也
- 【中島町田岸】 時長 紘一
- 【中島町長浦】 中田 一雄
- 【中島町瀬嵐】 横谷 淳一



おしらせ

議会だよりへの、市民の皆さんの率直なご意見・ご感想をお寄せください。なお、議会の会議録については、市内各図書館（中央・本府中・田鶴浜・中島）および能登島生涯学習総合センターに備えてあるほか、議会ホームページでも閲覧できます。

七尾市議会事務局内 議会だより編集委員会
TEL (0767) 53-8433
<http://www.city.nanao.lg.jp>
議会ホームページからメール送信ができます。

【編集後記】

今回も議会改革の一環として、市民の皆さんにわかりやすく、開かれた議会をより明確にする視点から編集を心がけました。

今後も、編集委員会は「市民のための議会」として、皆様のご要望やご意見を参考にして作成していきます。

編集委員 山崎 智之